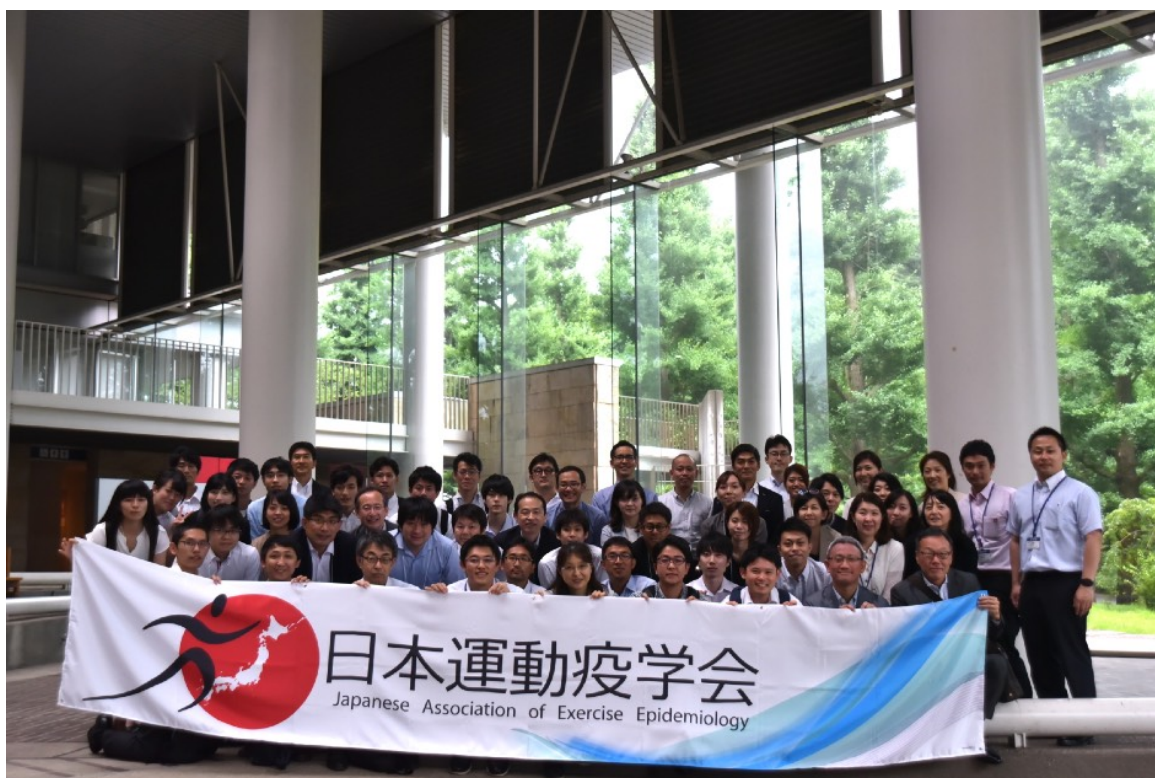


ふじさわプラス・テン通信



第22回日本運動疫学会学術総会集合写真

慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎にて 2019年6月23日撮影

● ご挨拶 ●

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
スポーツ医学研究センター
准教授 小熊祐子



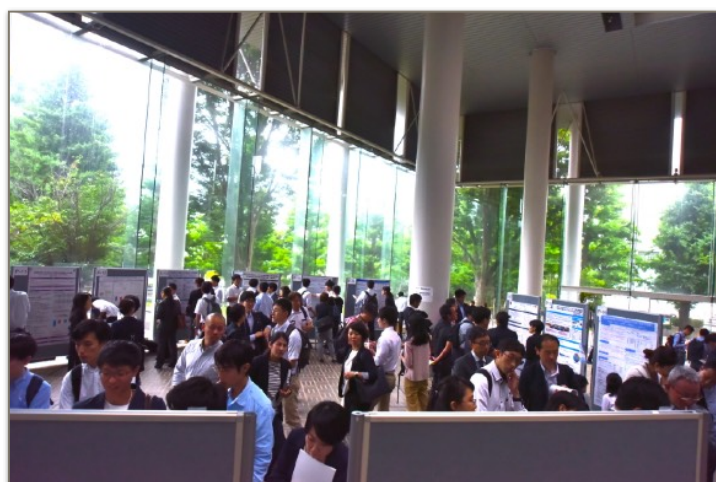
今回のニュースレターは私達が総力で取り組んだ学会の報告が中心です。様子をご覧ください。4年後健康チェックも始まりました。皆様にお会いするのを一同楽しみにしています！

● 第22回日本運動疫学会学術総会を開催しました！

6月22日（土）～23日（日）に慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎にて第22回日本運動疫学会学術総会を開催しました。今回は慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科が共催となって、小熊准教授が大会長、齋藤助教が事務局長を務めました。今回の学会テーマは、「繋ぐースポーツ・身体活動と地域・ヘルスケアー」でした。いよいよ来年に迫った2020東京オリンピック・パラリンピックの話題から身体活動や健康のための食事の話まで内容は多岐に渡りました。2日間の来場者は180名ほどで、学会に参加された方からは、立場を超えて様々な意見交換が行われ、まさに繋がりを感じる学会となりました。



大会長として大会の運営から会長講演、座長も行われた小熊准教授(左)。会長講演では今回の学会テーマに沿って発表を行いました。



ポスターセッションの様子。



学会場の様子。



(左)生活習慣病のための食事療法について講演される勝川忠憲先生
(慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)

(右)教育講演を行う新井康通先生 (慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター)



(左)身体活動環境のオーディットツールの作成と評価について発表する齋藤助教。
オーディット(現地評価)ツールはミクロ環境(道路の設計や質など)を評価する方法として現在注目されている手法で、日本運動疫学会プロジェクトとして齋藤助教が研究代表者として行っています。

運営準備から当日の進行まで
小熊研究室一同で準備してきました。
学会終了後に第22回日本運動疫学会
学会学術総会事務局員一同での写真。
(右)2019年6月23日 撮影



● 4年後健康チェックが始まりました！



水睦会さん 4年後健康チェック 7月25日 撮影

**ふじさわプラス・テンの4年後健康チェックが始まりました。
多くの皆様にご協力いただきありがとうございます。
今年もよろしくお願い致します！**

ふじさわプラス・テン通信
慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科 ふじさわプラス・テン研究班

【お問い合わせ先】
〒223-8521
神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
慶應義塾大学スポーツ医学研究センター
(電話) 045-566-1090
(FAX) 045-566-1067
(Email) f.plus10.keio@gmail.com



ふじさわプラス・テンホームページ
<http://www.plusten.sfc.keio.ac.jp>